

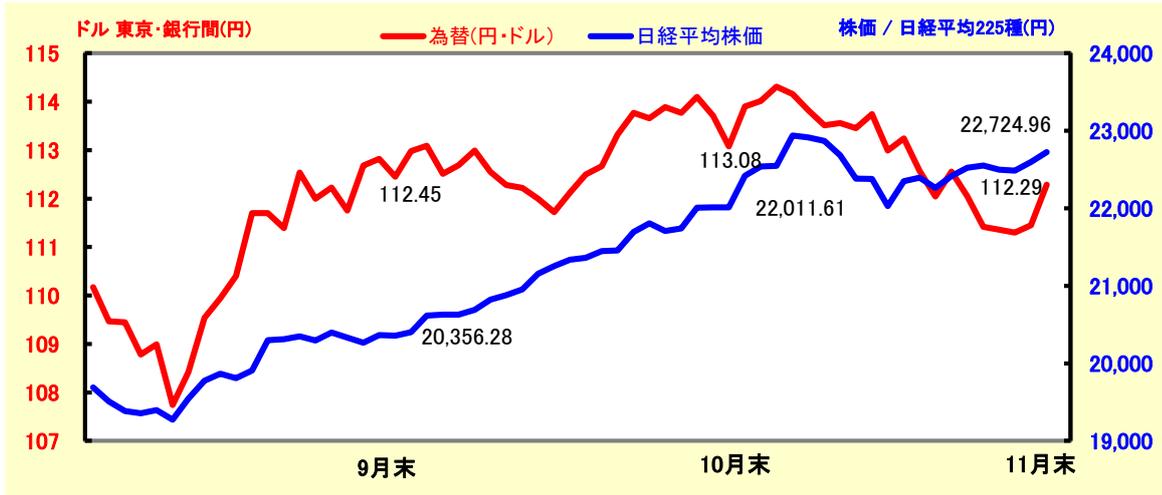
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 平成29年10月～12月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

平成29年10～12月期の業況/平成30年1～3月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成29年12月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	61先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	16先

調査方法

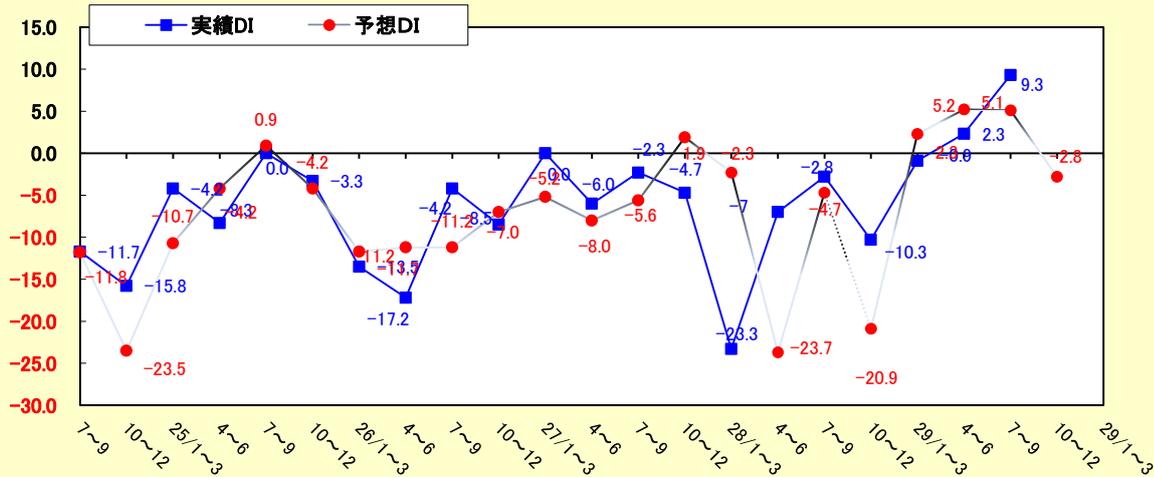
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



	10~12月期実績				1~3月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総 合	9.3	9.9	4.8	17.5	▲2.8	▲2.2	▲9.5	10.0
製 造 業	19.3	0.0	0.0	60.0	9.6	▲12.5	20.0	40.0
小 売 業	▲10.0	▲3.8	▲19.2	0.0	▲13.3	0.0	▲30.7	0.0
卸 売 業	8.0	▲11.1	30.0	0.0	▲36.0	▲44.4	▲40.0	▲16.6
サ ー ビ ス 業	18.3	25.0	14.2	0.0	5.0	0.0	10.7	0.0
建 設 業	40.9	80.0	33.3	25.0	27.2	60.0	11.1	25.0
不 動 産 業	▲11.7	0.0	▲16.6	▲25.0	▲5.8	14.2	▲16.6	▲25.0

10月~12月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

10月~12月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは9.3となり、前期比7.0ポイント上昇となっています。業種別の状況は、製造業は19.3となり、前期比22.5ポイント上昇、小売業は▲10.0となり、前期比10.0ポイント下降、卸売業は8.0となり、前期比40.0ポイント上昇、サービス業は18.3となり、前期比3.3ポイント上昇、建設業は40.9ポイントとなり、前期比18.2ポイント上昇、不動産業は▲11.7となり、前期比11.7ポイント下降となっています。

地域別では、別府地区が9.9となり、前期比8.8ポイント上昇、大分地区が4.8となり、前期比8.3ポイント上昇、県北地区が17.5となり、前期比0.0と同水準となっています。

業種別景況

製造業

● 当期(10月～12月)の景況

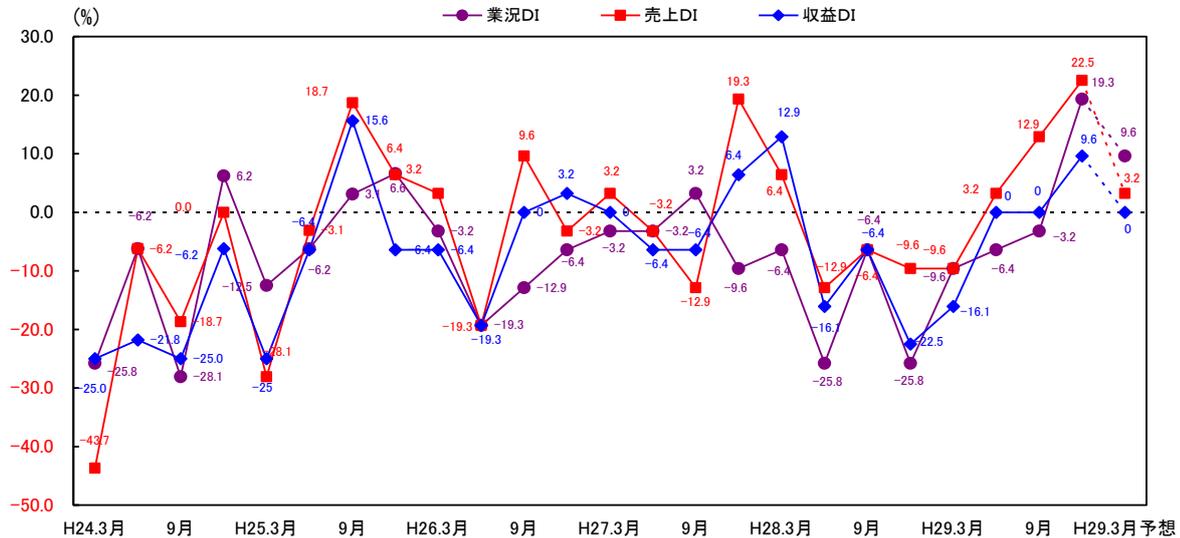
全域における業況DIは19.3となり、前期比22.5ポイント上昇、前年同期比45.1ポイント上昇となっています。売上DIは22.5となり、前期比9.6ポイント上昇、前年同期比32.1ポイント上昇となっています。収益DIは9.6となり、前期比9.6ポイント上昇、前年同期比32.1ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比31.2ポイント上昇、前年同期比37.5ポイント上昇、大分地区が0.0ポイントとなり、前期比同水準、前年同期比60.0ポイント上昇、県北地区が60.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比50.0ポイント上昇となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは9.6となり、今期比9.7ポイント下降となっています。売上予想DIは3.2となり今期比19.3ポイント下降となっています。収益予想DIは0.0となり今期比9.6ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲12.5、大分地区が20.0、県北地区が40.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	14.8%
原材料高	13.5%
工場・機械の狭小・老朽化	9.4%
同業者間の競争激化	8.1%
人手不足	8.1%

最重要経営施策

販路拡大	26.4%
経費節減	25.0%
人材確保	11.7%
新製品・技術開発	8.8%
特になし	5.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 今期は昨年に比べ売上高、利益ともに上向き傾向。東京オリンピックまでは需要が続くと見ている。(精密製造業)
- 災害による売上高、収益の減少が続いており回復までには時間を要する。不動産の有効活用をし、新しいビジネスモデルを構築している。(ざぼん漬)
- 現在、企業の体制を見直ししている。来期は経費削減を中心に利益確保に努める。(オフセット印刷)
- クリスマスシーズンが最も多忙な時期となるが、コンビニ等の増加もあり、年々ケーキの予約数が減少している。(菓子・パン製造)
- 業況は例年と変わらず推移している。今後、新たな受注先を増やすのも難しいため、経費削減を目指す。(豆腐・油揚)
- 現在、取引先の拡充に力を入れている。年末、資金借入の検討をしている。(漬物製造業)

小売業

● 当期(10月～12月)の景況

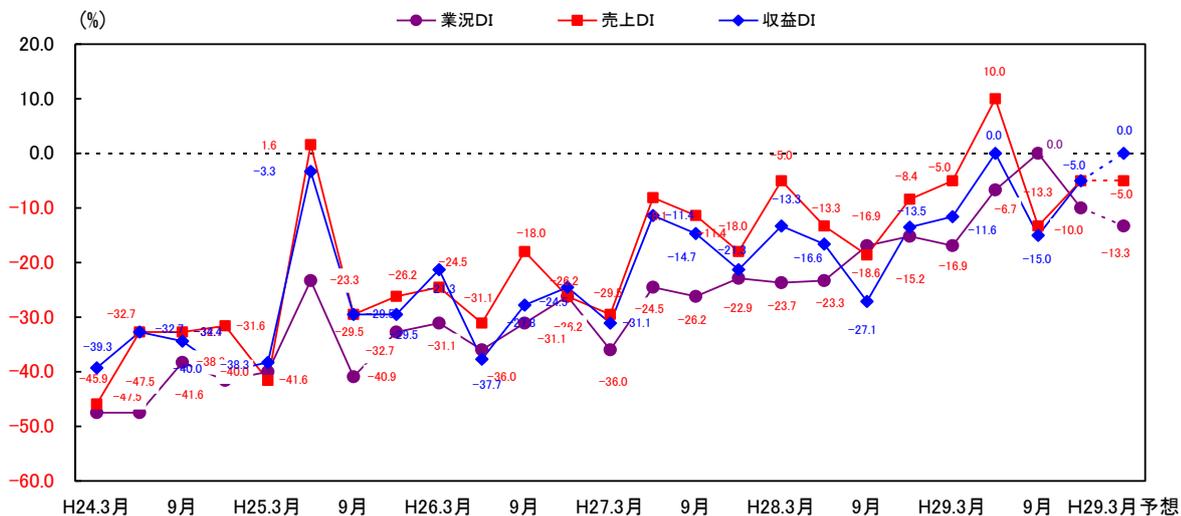
全域における業況DIは▲10.0となり、前期比10.0ポイント下降、前年同期比5.2ポイント上昇となっています。売上DIは▲5.0となり、前期比8.3ポイント上昇、前年同期比3.4ポイント上昇となっています。収益DIは▲5.0となり、前期比10.0ポイント上昇、前年同期比8.5ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲3.8となり、前期比3.8ポイント下降、前年同期比23.1ポイント上昇、大分地区が▲19.2となり、前期比11.6ポイント下降、前年同期比7.2ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期比12.5ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲13.3となり、今期比3.3ポイント下降となっています。売上予想DIは▲5.0となり、今期比0.0ポイントと同水準となっています。収益予想DIは0.0となり、今期比5.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が▲30.7、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	20.1%
同業者間の競争激化	15.1%
大型店競争激化	12.2%
商圏人口減少	8.6%
取引先減少	7.9%

最重要経営施策

経費節減	60.0%
品揃え改善	34.0%
売筋商品取扱	32.0%
宣伝・広告強化	26.0%
店舗・設備改装	14.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 競合との争いが激化しており利幅が縮小している。品揃え等を改善し収益力アップを図っていく。(日用品販)
- 景気の回復を実感できない。(化粧品販売)
- 大手スーパーもなくなる時代であり、小売店はより厳しい状況にある。(食肉卸売)
- 市場は縮小傾向にあり、業況の悪化はやむをえない。(衣料品販売)
- 業況好転の兆しあり、今後も経営を行う。(パン製造、小売)
- 大手スーパーとの価格競争が厳しい。(米穀販売)
- 法人からの注文が少なくなっている。(生花業)
- 主要顧客は別府市内の宿泊施設。大きな変化はなく安定推移している。(米穀販売)

卸 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

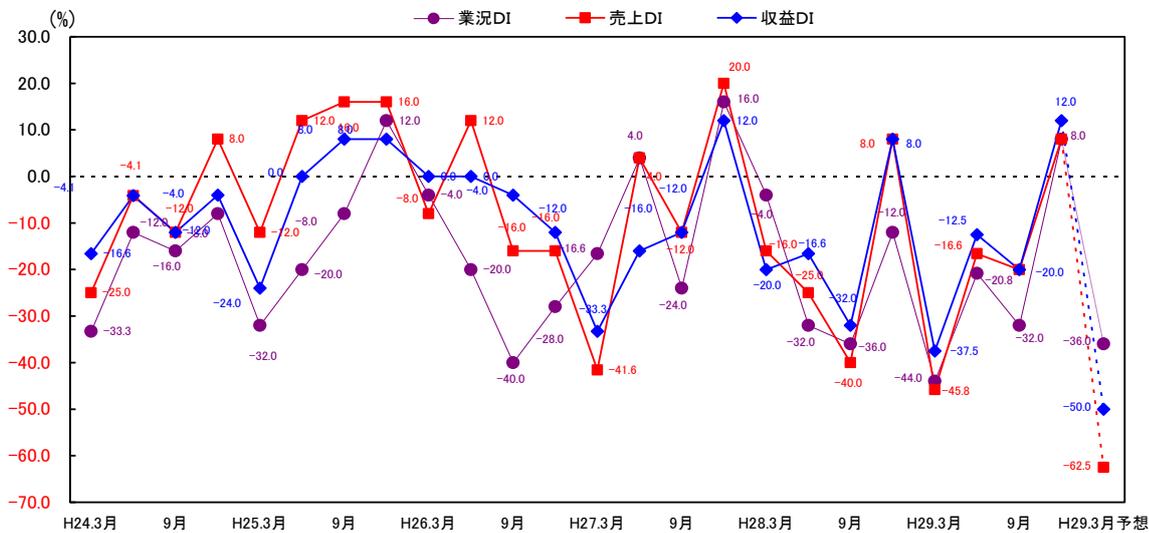
全域における業況DIは8.0となり、前期比40.0ポイント上昇、前年同期比20.0ポイント上昇となっています。売上DIは8.0となり、前期比28.0ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準になっています。収益DIは12.0となり、前期比32.0ポイント上昇、前年同期比4.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲11.1となり、前期比33.3ポイント上昇、前年同期比11.1ポイント上昇、大分地区が30.0となり、前期比70.0ポイント上昇、前年同期比50.0ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比16.6ポイント下降になっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲36.0となり、今期比44.0ポイント下降となっています。売上予想DIは▲62.5となり、今期比70.5ポイント下降となっています。収益予想DIは▲50.0となり、今期比62.0ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲44.4、大分地区が▲40.0、県北地区が▲16.6となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	16.1%
売上停滞・減少	14.5%
人手不足	9.6%
利幅縮小	8.0%
地場産業衰退	6.4%

最重要経営施策

販路拡大	24.0%
経費節減	24.0%
特になし	10.0%
不動産の有効活用	8.0%
情報力強化	6.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- オートバイ人口の減少もあり、売上、収益ともに低調。景気は良くなると思うが、自社への影響は少ないと見ている。(オートバイ部品卸)
- 売上は昨年並みであり順調に推移している。収益確保に向けて値上げも検討している。(生活用品卸)
- 材料となる竹を海外から輸入しているため、為替の動向が気になる。(竹製品)
- 取引先の見直しや天候不順の影響を受け、昨年同時期と比較すると減収。取引先も動きが鈍く景気回復は感じられない。(塗料)
- 観光客の伸び悩みなどで売上げは低調。(食品)
- 自動印刷機を現在2台確保しているが、人手不足は解消されない。来期より自動印刷機を2台追加することで、人手不足の解消を図りたい。(カレンダー、タオル等)

サービス業

● 当期(10月～12月)の景況

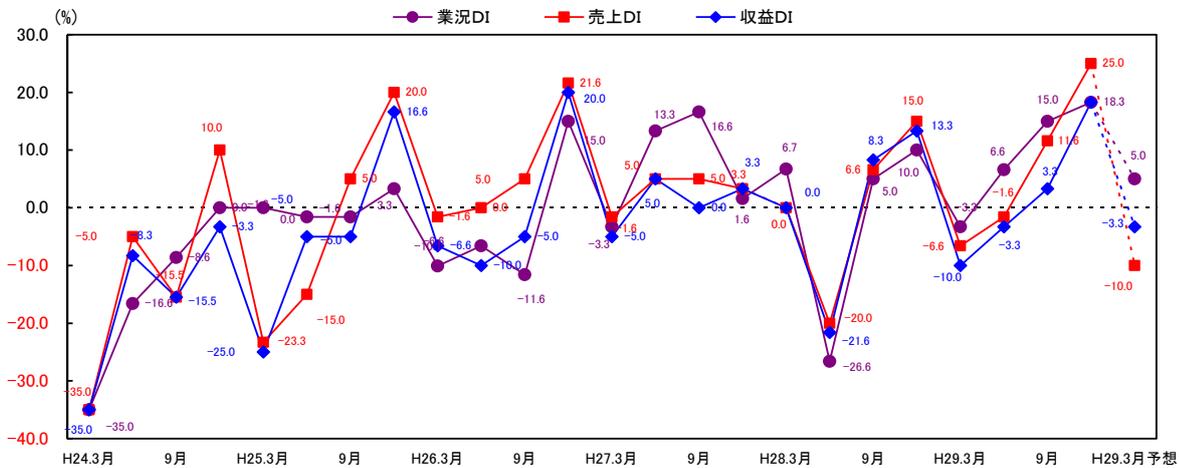
全域における業況DIは18.3となり、前期比3.3ポイント上昇、前年同期比8.3ポイント上昇となっています。売上DIは25.0となり、前期比13.4ポイント上昇、前年同期比10.0ポイント上昇となっています。収益DIは18.3となり、前期比15.0ポイント上昇、前年同期比5.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が25.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比10.8ポイント上昇、大分地区が14.2となり、前期比7.1ポイント上昇、前年同期比7.1ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比、前年同期比ともに0.0ポイントと同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは5.0となり、今期比13.3ポイント下降となっています。売上予想DIは▲10.0となり、今期比35.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲3.3となり、今期比21.6ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が10.7、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	17.3%
人手不足	14.9%
売上停滞・減少	14.1%
店舗・設備狭小・老朽化	7.8%
取引先減少	7.0%

最重要経営施策

販路拡大	21.4%
経費節減	15.8%
人材確保	13.4%
宣伝・広告強化	10.3%
特になし	6.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- ネットで簡単に情報が入手できる時代になり、昔と比べると保険に対する意識は高まっているようにあるが、顧客の獲得はなかなか難しい。(保険サービス)
- 従業員を募集しても人が集まらない。(うどん店)
- 従業員がなかなか定着しない。賃金の見直しが必要かもしれない。(飲食業)
- 売上、利益とも半年並みであり、販路拡大に向けて取り組みたい。(貸おしぼり)
- 直近の業況は上向いてきたが、来年以降も続くのかという不透明である。(飲食店)
- 売上は順調に推移。引き続き経費削減、売上増加に尽力する。(美容業)
- 例年通りの売上で推移、従業員の高齢化が今後の課題である。(自動車整備板金)
- 景気が悪くても従業員、利用者を大事にすれば数字はついてくる。(介護事業)
- 顧客の高齢化、商圏の人口減の影響を受けている。(美容室)

建設業

● 当期(10月～12月)の景況

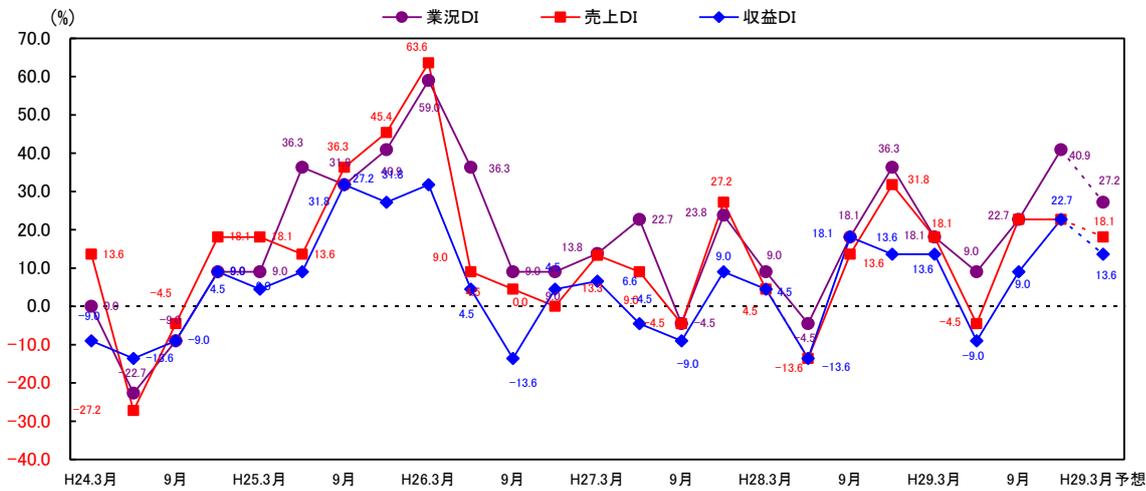
全域における業況DIは40.9となり、前期比18.2ポイント上昇、前年同期比4.6ポイント上昇となっています。売上DIは22.7となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比9.1ポイント下降となっています。収益DIは22.7となり、前期比13.7ポイント上昇、前年同期比9.1ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が80.0となり、前期比40.0ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準、大分地区が33.3となり、前期比11.1ポイント上昇、前年同期比11.1ポイント下降、県北地区が25.0となり、前期比12.5ポイント上昇、前年同期比25.0ポイント上昇となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは27.2となり、今期比13.7ポイント下降となっています。売上予想DIは18.1となり、今期比4.6ポイント下降となっています。収益予想DIは13.6ポイントとなり、今期比9.1ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が60.0、大分地区が11.1、県北地区が25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	29.7%
同業者間の競争激化	12.7%
材料価格の上昇	12.7%
人件費増加	10.6%
売上停滞・減少	8.5%

最重要経営施策

人材確保	27.9%
経費節減	16.2%
技術力向上	16.2%
販路拡大	13.9%
情報力強化	11.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- 後継者がいないので法人廃業予定。規模を縮小し個人で営業する。(建設業)
- 昨年とあまり業況は変化なし。材料価格は多少低下している。今後も横ばいで推移するだろう。(建設業)
- 同業者間の競争が激化している。販路拡大、経費削減を行っていく。(建設業)
- 公共事業の受注はしていない。個人間の紹介で受注を受けている。(建築業)

不動産業

● 当期(10月～12月)の景況

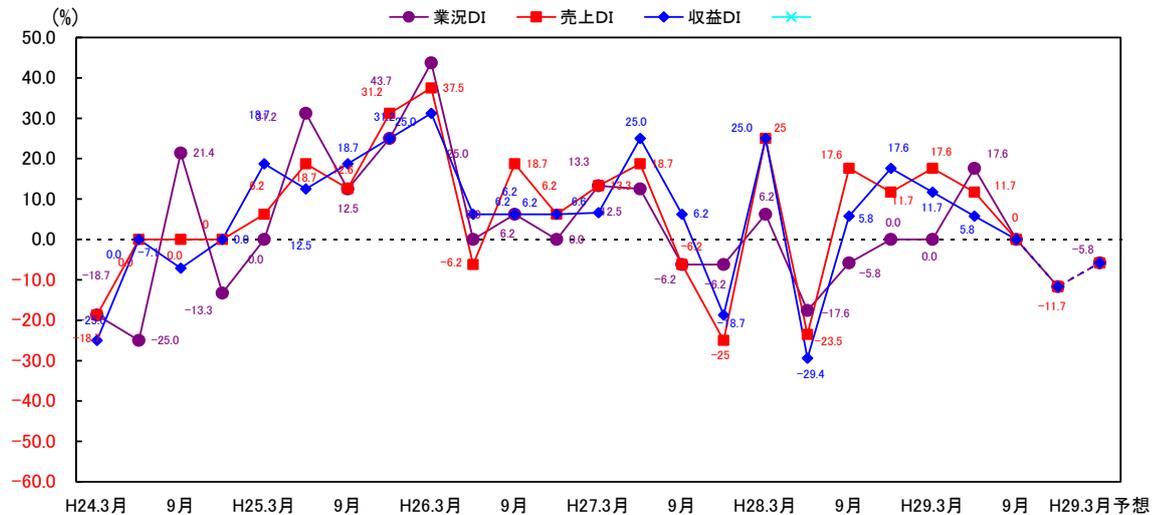
全域における業況DIは▲11.7となり、前期比11.7ポイント下降、前年同期比11.7ポイント下降となっています。売上DIは▲11.7となり、前期比11.7ポイント下降、前年同期比23.4ポイント下降となっています。収益DIは▲11.7となり、前期比11.7ポイント下降、前年同期比29.3ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比14.2ポイント下降、前年同期比14.2ポイント下降、大分地区が▲16.6となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比16.6ポイント下降、県北地区が▲25.0となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲5.8となり、今期比5.9ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲5.8となり、今期比5.9ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲5.8となり、今期比5.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が14.2、大分地区が▲16.6、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	18.7%
大手企業との競争激化	15.6%
問題なし	15.6%
商品物件不足	12.5%
売上停滞・減少	12.5%

最重要経営施策

情報力強化	34.2%
販路拡大	20.0%
宣伝・広告強化	11.4%
経費節減	11.4%
不動産の有効活用	5.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 業況は横ばいで推移している。(不動産業)
- 商品販売も順調であり、金融債務も減少傾向にある。(不動産業)
- 動きは多少はある。成約に至るよう営業展開をして行く。(不動産仲介)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	9.3	19.3	△ 10.0	8.0	18.3	40.9	△ 11.7
	1月～3月予想	△ 2.8	9.6	△ 13.3	△ 36.0	5.0	27.2	△ 5.8
売 上	10月～12月実績	11.2	22.5	△ 5.0	8.0	25.0	22.7	△ 11.7
	1月～3月予想	△ 9.3	3.2	△ 5.0	△ 62.5	△ 10.0	18.1	△ 5.8
受注残	10月～12月実績	18.9	16.1	***	***	***	22.7	***
	1月～3月予想	5.7	3.2	***	***	***	9.0	***
施工高	10月～12月実績	18.2	***	***	***	***	18.1	***
	1月～3月予想	22.7	***	***	***	***	22.7	***
収 益	10月～12月実績	7.9	9.6	△ 5.0	12.0	18.3	22.7	△ 11.7
	1月～3月予想	△ 5.6	0.0	0.0	△ 50.0	△ 3.3	13.6	△ 5.8
販売価格	10月～12月実績	8.7	9.6	8.3	17.2	5.0	18.1	△ 5.8
	1月～3月予想	4.5	6.4	5.0	12.5	2.2	9.0	△ 11.7
仕入価格	10月～12月実績	20.9	32.2	20.0	20.0	16.6	22.7	17.6
	1月～3月予想	16.4	9.6	13.3	33.3	13.3	22.7	17.6
在庫	10月～12月実績	△ 3.2	△ 6.4	△ 3.3	8.0	***	0.0	△ 17.6
	1月～3月予想	△ 0.6	0.0	△ 3.3	8.3	***	0.0	△ 5.8
資金繰り	10月～12月実績	△ 5.6	△ 9.6	△ 15.0	△ 4.0	0.0	13.6	△ 11.7
	1月～3月予想	△ 5.1	3.2	△ 13.3	△ 8.3	0.0	0.0	△ 11.7
残業時間	10月～12月実績	4.7	22.5	△ 3.3	8.0	0.0	13.6	0.0
	1月～3月予想	△ 3.7	6.4	△ 5.0	△ 8.0	△ 6.6	0.0	△ 5.8
人手状況	10月～12月実績	△ 24.3	△ 16.1	△ 10.1	△ 28.0	△ 30.0	△ 50.0	△ 29.4
	1月～3月予想	△ 20.6	△ 16.1	△ 13.5	△ 12.0	△ 26.6	△ 36.3	△ 23.5

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	9.9	0.0	△ 3.8	△ 11.1	25.0	80.0	0.0
	1月～3月予想	△ 2.2	△ 12.5	0.0	△ 44.4	0.0	60.0	14.2
売 上	10月～12月実績	15.4	12.5	0.0	△ 22.2	39.2	40.0	14.2
	1月～3月予想	△ 13.2	△ 6.2	0.0	△ 77.7	△ 21.4	40.0	0.0
受注残	10月～12月実績	14.3	6.2	***	***	***	40.0	***
	1月～3月予想	4.8	△ 6.2	***	***	***	40.0	***
施工高	10月～12月実績	40.0	***	***	***	***	40.0	***
	1月～3月予想	40.0	***	***	***	***	40.0	***
収 益	10月～12月実績	15.4	6.2	7.6	0.0	28.5	20.0	28.5
	1月～3月予想	△ 9.9	△ 12.5	3.8	△ 66.6	△ 14.2	20.0	14.2
販売価格	10月～12月実績	11.0	12.5	15.3	11.1	3.5	40.0	0.0
	1月～3月予想	4.4	6.2	7.6	11.1	0.0	20.0	△ 14.2
仕入価格	10月～12月実績	20.9	25.0	26.9	0.0	17.8	40.0	14.2
	1月～3月予想	17.6	18.7	11.5	33.3	14.2	40.0	14.2
在庫	10月～12月実績	△ 3.2	0.0	△ 7.6	11.1	***	0.0	△ 14.2
	1月～3月予想	△ 4.8	0.0	△ 7.6	0.0	***	0.0	△ 14.2
資金繰り	10月～12月実績	△ 7.7	△ 25.0	△ 19.2	0.0	3.5	20.0	0.0
	1月～3月予想	△ 6.6	△ 6.2	△ 19.2	11.1	△ 3.5	0.0	0.0
残業時間	10月～12月実績	△ 3.3	0.0	△ 3.8	△ 33.3	0.0	20.0	0.0
	1月～3月予想	△ 5.5	0.0	△ 3.8	△ 22.2	△ 10.7	20.0	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 17.6	0.0	0.0	0.0	△ 35.7	△ 80.0	△ 28.5
	1月～3月予想	△ 17.6	0.0	△ 3.8	0.0	△ 32.1	△ 80.0	△ 28.5

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	10月～12月実績	4.8	0.0	△ 19.2	30.0	14.2	33.3	△ 16.6
	1月～3月予想	△ 9.5	20.0	△ 30.7	△ 40.0	10.7	11.1	△ 16.6
売上	10月～12月実績	2.4	0.0	△ 15.3	30.0	10.7	22.2	△ 33.3
	1月～3月予想	△ 14.5	△ 20.0	△ 15.3	△ 66.6	△ 3.5	0.0	0.0
受注残	10月～12月実績	14.3	△ 20.0	***	***	***	33.3	***
	1月～3月予想	7.1	0.0	***	***	***	11.1	***
施工高	10月～12月実績	11.1	***	***	***	***	11.1	***
	1月～3月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収益	10月～12月実績	△ 4.8	△ 20.0	△ 23.0	20.0	7.1	22.2	△ 50.0
	1月～3月予想	△ 8.4	0.0	△ 7.6	△ 55.5	0.0	11.1	△ 16.6
販売価格	10月～12月実績	8.3	0.0	3.8	30.0	7.1	11.1	0.0
	1月～3月予想	4.8	0.0	3.8	22.2	3.5	0.0	0.0
仕入価格	10月～12月実績	21.4	40.0	11.5	40.0	17.8	22.2	33.3
	1月～3月予想	19.3	0.0	15.3	55.5	14.2	11.1	33.3
在庫	10月～12月実績	△ 5.3	△ 20.0	0.0	10.0	***	0.0	△ 50.0
	1月～3月予想	0.0	0.0	0.0	22.2	***	0.0	△ 33.3
資金繰り	10月～12月実績	△ 7.1	△ 40.0	△ 11.5	0.0	△ 3.5	11.1	△ 16.6
	1月～3月予想	△ 7.2	△ 20.0	△ 11.5	△ 22.2	3.5	0.0	△ 16.6
残業時間	10月～12月実績	9.5	40.0	△ 3.8	50.0	0.0	22.2	0.0
	1月～3月予想	△ 1.3	40.0	△ 7.6	0.0	△ 3.5	0.0	△ 16.6
人手状況	10月～12月実績	△ 33.7	△ 40.0	△ 16.0	△ 60.0	△ 28.5	△ 55.5	△ 50.0
	1月～3月予想	△ 25.3	△ 40.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 25.0	△ 33.3	△ 33.3

県北地区

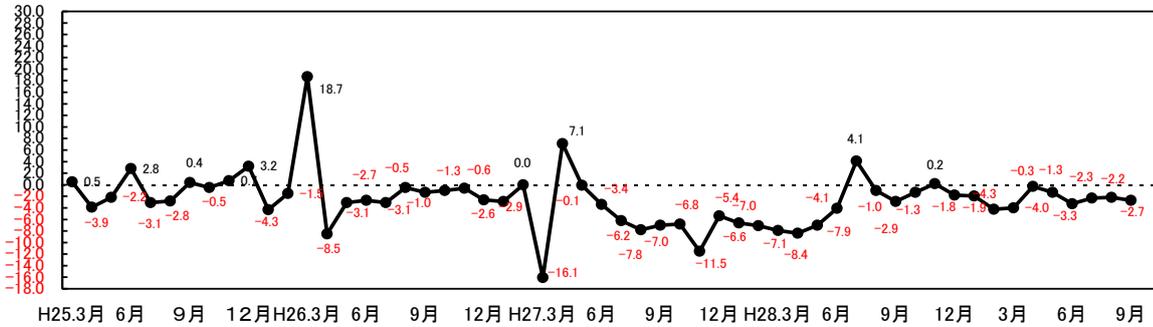
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	10月～12月実績	17.5	60.0	0.0	0.0	0.0	25.0	△ 25.0
	1月～3月予想	10.0	40.0	0.0	△ 16.6	0.0	25.0	△ 25.0
売上	10月～12月実績	20.0	50.0	12.5	16.6	25.0	12.5	△ 25.0
	1月～3月予想	10.0	30.0	12.5	△ 33.3	25.0	25.0	△ 25.0
受注残	10月～12月実績	27.8	50.0	***	***	***	0.0	***
	1月～3月予想	5.6	20.0	***	***	***	△ 12.5	***
施工高	10月～12月実績	12.5	***	***	***	***	12.5	***
	1月～3月予想	37.5	***	***	***	***	37.5	***
収益	10月～12月実績	17.5	30.0	12.5	16.6	25.0	25.0	△ 25.0
	1月～3月予想	10.0	20.0	12.5	△ 16.6	50.0	12.5	△ 25.0
販売価格	10月～12月実績	2.5	10.0	0.0	0.0	0.0	12.5	△ 25.0
	1月～3月予想	2.5	10.0	0.0	0.0	0.0	12.5	△ 25.0
仕入価格	10月～12月実績	20.0	40.0	25.0	16.6	0.0	12.5	0.0
	1月～3月予想	7.5	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0
在庫	10月～12月実績	0.0	△ 10.0	0.0	0.0	***	0.0	25.0
	1月～3月予想	5.6	0.0	0.0	0.0	***	0.0	50.0
資金繰り	10月～12月実績	2.5	30.0	△ 12.5	△ 16.6	0.0	12.5	△ 25.0
	1月～3月予想	2.5	30.0	0.0	△ 16.6	0.0	0.0	△ 25.0
残業時間	10月～12月実績	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 12.5	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 20.0	△ 30.0	△ 25.0	△ 16.6	0.0	△ 25.0	0.0
	1月～3月予想	△ 17.5	△ 30.0	△ 25.0	△ 16.6	0.0	△ 12.5	0.0

大型小売店販売額

平成29年9月の県内大型小売店販売額は76億円で、前年同月比2.7ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比4.1ポイントの下降、飲食料品が1.4ポイントの下降、その他の商品が4.5ポイントの下降となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前：経済産業省)

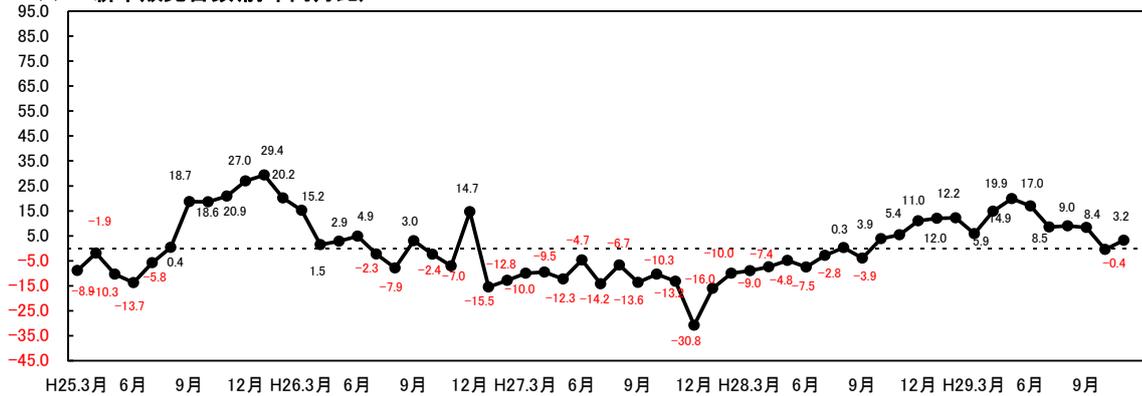


新車販売台数

11月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は4,282台で前年同月を3.2%上回りました。車種別では、普通乗用車が998台で前年同月比13.0%増、小型乗用車は1,002台で前年同月比6.5%減となりました。また、軽四輪車の合計は1,942台で前年比3.6%上回り11ヵ月連続のプラスとなりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

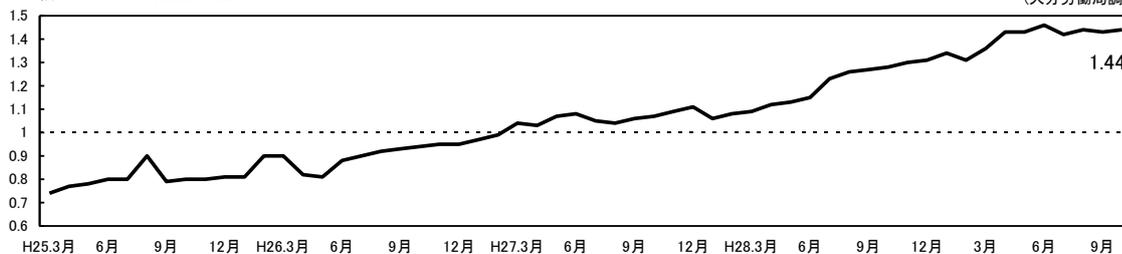


有効求人倍率

平成29年10月の有効求人倍率は、前月を0.01ポイント上回る1.44倍となりました。地域別でみると、大分管内1.66倍、別府管内1.12倍、中津管内1.57倍と高水準を維持しております。

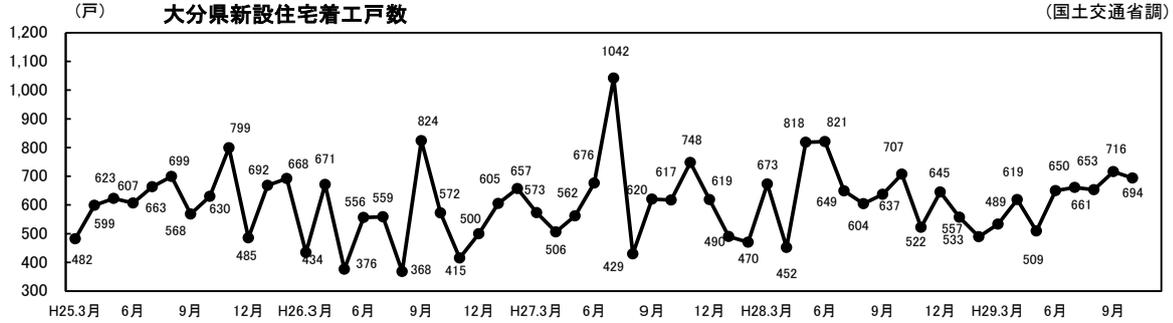
(倍) 有効求人倍率

(大分労働局調)



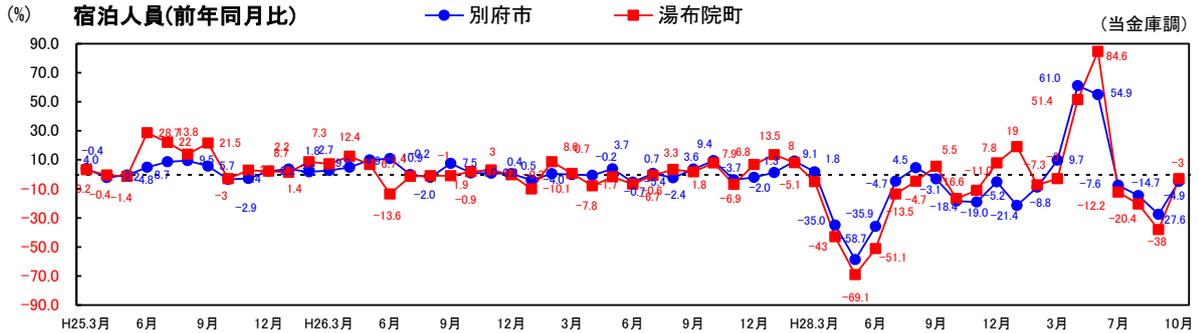
新設住宅着工戸数

平成29年10月の住宅着工戸数は694戸でした。そのうち、持家は205戸、貸家は349戸、分譲住宅は108戸となっています。



観光動向

平成29年10月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で4.9ポイントの下降、湯布院地区で3.0ポイントの下降となりました。昨年の10月は「ふっこう割」第二弾がスタートした月ですが、第一弾ほどのインパクトがなかったため低調なスタートでした。その昨年との比較になりますが、宿泊人員・売上ともにほぼ前年並みの結果となりました。
 ※宿泊人員(前年同月比)の折れ線グラフでは、29年5月のデータを省略しております(28年5月は震災の影響により宿泊人員が大幅に落ち込んだため)。29年5月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区+143.7%、湯布院地区+170.4%となっております。



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、平成29年11月の県内の企業倒産件数は2件で5千2百万円、10月は5件で5億1百万円、9月は8件で23億2千9百万円となっています。

